

輸送動向について(4月分)

平成19年5月

1. 輸送概況

新年度に入った今月の運転状況は、大きな輸送障害もなく、安定した状況で推移した。

荷動きについては、下旬に需要の盛り上がりがあったものの、中旬までは前月の年度末需要で先送りされた影響が残った他、ゴールデンウィークが大型連休であったこともあり、月全体を通して低調に推移した。

コンテナ貨物では、九州地区からの玉葱の出荷が好調であった農産品・青果物が前年を大きく上回ったものの、過去の輸送障害の影響で他輸送機関に一部転移し減送となっている積合せ貨物の他、化学薬品、エコ関連物資、紙・パルプが前年を下回り、コンテナ貨物全体では前年比99.7%となった。

車扱貨物では、前年と比較し気温が高めに推移した影響で灯油を中心に減送となった石油の他、鉄鋼メーカーの高炉改修工事により出荷調整のあった石灰石、3月のダイヤ改正から一部区間で輸送終了となったセメントなどすべての品目が前年を下回り、車扱貨物全体では前年比89.0%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,987	1,992	99.7%
車 扱	1,028	1,155	89.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	184	170	14	108.2%
	化学工業品	190	186	4	102.2%
	化学薬品	139	150	-11	92.7%
	食料工業品	306	304	2	100.7%
	紙・パルプ	318	322	-4	98.8%
	他工業品	141	137	4	102.9%
	積合せ貨物	225	239	-14	94.1%
	自動車部品	59	57	2	103.5%
	家電・情報機器	31	29	2	106.9%
	エコ関連物資	28	35	-7	80.0%
	その他	366	362	4	101.1%
コンテナ計	1,987	1,992	-5	99.7%	
車 扱	石油	670	763	-93	87.8%
	セメント	45	62	-17	73.1%
	石灰石	51	62	-11	81.9%
	車 両	115	119	-4	96.9%
	その他	147	150	-3	98.5%
	車 扱 計	1,028	1,155	-127	89.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)

<今年度より、コンテナ品目のうち、「農産品」と「生野菜青果物」は「農産品・青果物」に統合し、「その他」から「家電・情報機器」を独立させました。また、車扱品目のうち、「紙・パルプ」と「化学薬品」は「その他」に統合しました。>